

東京インキ株式会社

加工品営業本部 環境資材営業部 矢 幅 哲 夫

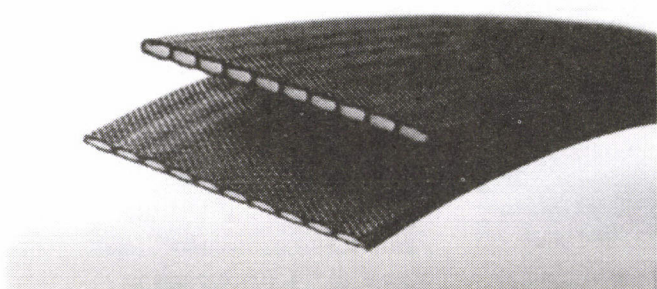
1. はじめに

弊社は1923年に創業し、昨年おかげさまで創立80周年を迎えることができました。事業部としては、社名の通り印刷インキ事業と各種プラスチック素材の着色事業を営む化成事業とに分けられます。弊社がジオテキスタイル材を取扱うようになったのは、英国ネトロン社より導入したプラスチックネット「ネトロン」の製造販売のために、1964年に旧三井石油化学工業との共同出資による東京ポリマーの設立にはじまります。当初は包装用途が主体でしたが、その後土木用途開発が進み、1980年には敷網用ネトロンシートが羽田沖埋立工事において大規模に採用されるに至りました。更に1986年にテプサーが国内で上市されてからは、コア事業の一貫として補強盛土工法への普及活動に積極的に取り組み現在に至っています。また近年、海外からの輸入商品および工法の普及にも取り組んでおりますので、今回下記にご紹介します。

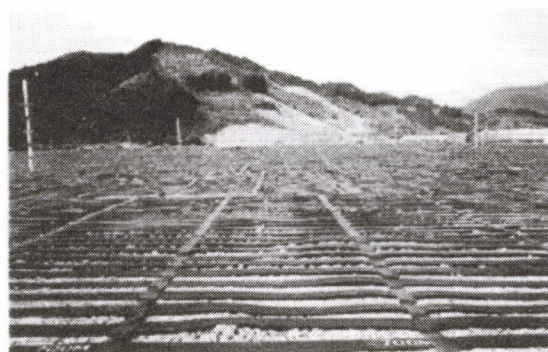
2. 新製品の紹介

【パラリンクM】

- ・パラリンクとは高強度ポリエステル長繊維を平行かつ非常に密に引き揃えて芯材としており、その繊維束を低密度ポリエチレンで被覆した帯状の構造を有しています。この帯状材料（パラウェブ）を等間隔に並べて面状にした盛土補強材料がパラリンクです。



パラウェブ



パラリンク

- ・製品性能はポリエステルを織ったり編んだりせず平行束の芯材としているため、繊維方向の引張強度が大きく、またポリエチレン被覆材により耐腐食性、耐薬品性、耐衝撃性に優れた特性を有します。主に代表的な製品基準強度は表-1に示す値です。

表-1 製品基準強度

品番	単位	100M	200M	300M	400M	500M	600M	700M	800M
製品基準強度	kN/m	100	200	300	400	500	600	700	800

【ジオウェブ】

- ・ジオセル工法はU.S Army Corps of Engineers とプレスト社の共同研究で、1980年代に開発された工法です。製品の強度や設計法等は、両者間で研究され、決定されました。

